

# アベンジャー®フロアブル

■種類名：フロメトキン水和剤

■有効成分：フロメトキン----- 10.0%

■登録番号：第24631号

(三井化学クロップ&ライフソリューション登録)

■毒性：医薬用外劇物

■登録初年：2022.06.08

■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

■有効年限：4年

■包装：500ml×20本

## 【特長】

- アザミウマ類に特効的、サビダニ類にも高い効果を示す。併せて、タバココナジラミ類、小型のチョウ目害虫にも有効。
- 新規作用機作(ミトコンドリア電子伝達系複合体III Qi を阻害する)で既存剤に感受性の低下した害虫種にも有効。
- 害虫に対して速効的に効果を示し、優れた残効性を有する。
- ミツバチ・マルハナバチ等の有用昆虫やカブリダニ類等の天敵類に対する影響が小さい。

## 【適用内容】(2024年2月1日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フロメトキンを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	2000~4000	200~ 700	収穫7日前 まで	2回 以内		2回 以内
マンゴー	アザミウマ類	2000					
なす ピーマン ししとう	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000	100~ 300	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回 以内
しよくよう ほおずき		1000~2000					
アザミウマ類	2000						
トマト ミニトマト	アザミウマ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000~2000					
	トマトサビダニ	1000~4000					
すいか いちご	アザミウマ類	1000~2000					
はくさい	アオムシ	1000					
	コナガ	1000~2000					
キャベツ	コナガ アザミウマ類	1000~2000					
	アオムシ	1000					
きく(葉) にら 食用ぎく	アザミウマ類	2000	収穫3日前 まで	2回 以内	2回 以内		
しそ			収穫前日 まで				
しそ(花穂)							
ブロッコリー カリフラワー	アオムシ、アザミウマ類	1000	収穫3日前 まで	2回 以内	2回 以内		
だいこん	コナガ	1000~2000	収穫14日前 まで				
	アザミウマ類		収穫3日前 まで				
ねぎ	ネギハモグリバエ	2000	収穫前日 まで				
わけぎ あさつき	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	1000~2000	収穫3日前 まで	3回 以内	3回 以内		
たまねぎ	アザミウマ類	2000	収穫14日前 まで	2回 以内	2回 以内		
ほうれんそう							

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量 (% /10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フロメトキ ンを含む 農薬の 総使用回数
アスパラガス	アザミウマ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	2000	100～ 800	収穫前日 まで	2回 以内	散布  散布 但し、花穂 の発生期に はマルチフ ィルム被覆 により散布 液が直接花 穂に飛散し ない状態で 使用する。	2回 以内
みょうが (花穂)	アザミウマ類	1000	100～ 300		3回 以内		散布
みょうが (茎葉)				みょうが (花穂)の収 穫前日まで 但し、花穂を 収穫しない 場合にあっ ては開花期 終了まで			
茶	チャノホソガ	2000～4000	200～	摘採 14 日前 まで	2回 以内		2回 以内
	チャノキイロアザミウマ	1000～4000	400				
きく ほおずき	アザミウマ類	2000	100～ 300	発生初期	2回 以内		2回 以内
グロリオサ		1000					

#### 【効果・薬害等の注意】

- 使用前に容器をよく振ること。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけむらのないように葉の表裏に十分散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。使用方法等を厳守すること。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
  - ❖ 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして衣服を交換すること。作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯すること。
  - ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
  - ❖ 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に喚起した後に入室すること。
  - ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。  
水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。  
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、鍵のかかる冷涼な所に密栓して保管すること。  
盗難、紛失の際は、警察に届け出ること。